

授業科目区分		科目名		単 位	科目コード	開講時期	履 修 条 件		
修学基礎教育課程 修学基礎科目 修学基礎		修学基礎 Basic Style for Study II		1	0002-01	1期(前学期)	修学規程第5条別表第2を参照		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
授 業 科 目 の 学 習 教 育 目 標									
キーワード		学習教育目標							
1	KITポートフォリオ	金沢工業大学の学生として求められる、学習や生活に取り組む態度と方法を体験することにより、自己管理能力と日本語表現力の重要性を認識し、自己実現に向かって、積極的に取り組むことができる。 本学が推進するKITポートフォリオシステムを活用し、修学・生活スタイルの改善を実行するための基礎的な習慣を身につけることができる。							
2	自学自習								
3	日本語表現力								
4	プレゼンテーション								
5	キャリアデザイン								
授業の概要および学習上の助言									
<p>1. 毎日「1週間の行動履歴」を記録し、学期末に「前学期の達成度自己評価」を作成して、KITポートフォリオ(web上)に入力することにより、自己管理能力を身につける。</p> <p>2. 教務部長講話・カウンセリングセンター講話を聴講することによって自己を振り返り、今後の学習目標と自学自習の確立の重要性を再認識し、修学意欲を高める。</p> <p>3. プレゼンテーションの基本技術を学習し、正しい日本語表現力と発表態度を身につける。</p> <p>4. 後学期の履修計画を立案する。</p> <p>5. 担当教員独自の多様な自由講義演習を実施する。</p> <p>出席・提出物の締切を守ることにについては特に厳しく評価する。 科目のホームページを頻繁に見ること。http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/</p>									
【教科書および参考書・リザーブブック】									
教科書：修学基礎2010[金沢工業大学] 参考書：指定なし リザーブブック：指定なし									
履修に必要な予備知識や技能									
<p>1. 「KIT IDEALS」を理解し実践する意志</p> <p>2. 「学生宣言」を理解し実践する意志</p> <p>3. 金沢工業大学「人間力」を身に付ける意志</p> <p>4. 日本語表現力</p> <p>5. レポートの書式設定</p>									
学科教育目標 (記号表記)		学生が達成すべき行動目標							
A,B		「1週間の行動履歴」の作成を通して自己管理能力を高め、次学期での対応を文章で報告することができる。							
A,B		講話の内容を整理し、それに対する自己の見解を文章で作成することができる。							
A		今後の学習目標を明確にするとともに、後学期の履修計画を立てることができる。							
A		グループ討議での意見をまとめ、グループで協力し発表準備を行い、発表することができる。							
A,B		規則正しい生活を行い、授業には欠かさず出席し、提出物の締切を守るなど、積極的に学ぶ姿勢を確立できる。							
A,B		本科目における「学生の達成すべき行動目標」の達成度を自己評価できる。							
達 成 度 評 価									
評価方法		試 験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作 品	ポートフォリオ	その他	合 計
指標と評価割合									
総合評価割合		0	0	45	13	0	26	16	100
総合力 指標	知識を取り込む力	0	0	15	0	0	0	0	15
	思考・推論・創造する力	0	0	15	0	0	0	0	15
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	5	0	0	0	5
	発表・表現・伝達する力	0	0	15	8	0	0	0	23
	学習に取り組む姿勢・意欲	0	0	0	0	0	26	16	42

総合力指標で示す数値内訳は、授業運営上のおおよその目安を示したものです。

評価の要点

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点
試験		
クイズ 小テスト		
レポート		課題 聴講ノート(3):教務部長講話 15点
	レ	課題 学習シート(3) 5点
	レ	課題 聴講ノート(4):カウンセリングセンター特別講義 15点
	レ	課題 学習シート(4) 5点
	レ	課題 後学期の履修計画点 5点
成果発表 (口頭・実技)		課題 グループ討議メモ用紙(2) 5点
		課題 プレゼンテーションの成果(1) 8点
	レ	
作品		
ポートフォリオ	レ	1週間の行動履歴 2点×8回 教室での授業毎に提出
		課題 前学期の達成度自己評価 10点
	レ	
	レ	
その他		定刻出席は2点×8回、10分までの遅刻1点減点、それ以上の遅刻は出席回数を認めるが0点とする。
		多目的ホールの講義での遅刻者・欠席者は後日ビデオを視聴する
	レ	

具体的な達成の目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
<p>「1週間の行動履歴」を自省することによって、次週への目標を明確に記すことができる。</p> <p>講話を聴きながら要点を整理し、後に自分の意見と照らしあわせながら講話の内容をまとめることができる。</p> <p>自己を振り返り成長過程の分析に沿って、今後の目標や修学意欲を明確に記すことができる。</p> <p>自分の意見を他者の意見と対比させながら明確に述べ、まとめて記すことができる。</p> <p>授業に欠かさず出席し、提出物の期限を守るなど、学習に対する積極的な態度が身に付いている。</p> <p>本科目における「学生が達成すべき行動目標」の達成度を自己評価し明確に記すことができる。</p>	<p>「1週間の行動履歴」を記録することができる。</p> <p>講話の内容を箇条書きでまとめることができる。</p> <p>自己を振り返り、今後の目標を記すことができる。</p> <p>他者の意見を聞いてまとめることができる。</p> <p>授業に出席し、提出物の期限を守るなどの学習態度が身に付いている。</p> <p>本科目における「学生が達成すべき行動目標」の達成度を自己評価することができる。</p>

授業明細表

CLIP学習プロセスについて

一般に、授業あるいは課外での学習では：「知識などを取り込む」「知識などをいろいろな角度から、場合によってはチーム活動として、考え、推論し、創造する」「修得した内容を表現、発表、伝達する」「総合的に評価を受ける、Good Work!」：のようなプロセス（一部あるいは全体）を繰り返し行いながら、応用力のある知識やスキルを身につけていくことが重要です。このような学習プロセスを大事に行ってください。

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1・2 /	<p>教務部長講話(佐藤 恵一 教授) 講話「本学での修学姿勢」を聴講し、修学への基本的な態度を自覚する。</p> <p>【持参物】 修学基礎2010、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック</p>	<p>講話を聴講しメモを取る。 メモに基づいて自分の考えを聴講ノートにまとめる。 遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日ビデオ視聴する。</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 聴講ノート(3) : 教務部長講話 時間内にまとめることができなかつた場合は、次週の授業までに修学アドバイザーの研究室に提出する。</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 学習シート(3) : テキストの該当箇所をまとめる。</p>	30 60
3・4 /	<p>修学ポートフォリオと達成度ポートフォリオの意義と入力 「1週間の行動履歴」「前学期の達成度自己評価」「1年次の達成度自己評価ポートフォリオレポート」のweb入力の方法を理解し、今後の自学自習につなげる。</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 学習シート(3)</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。</p>	30
5・6 /	<p>カウンセリングセンター特別講義(塩谷 亨 教授) 「充実した大学生活を送るために(心理的側面より)」を聴講し、本学の学生支援のシステムを知り、自己の修学姿勢を見直し今後の修学意欲を高める。</p>	<p>講話を聴講しメモを取る。 メモに基づいて自分の考えを聴講ノートにまとめる。 遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日ビデオ視聴する。</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 聴講ノート(4) : カウンセリングセンター特別講義 時間内にまとめることができなかつた場合は、次週の授業までに修学アドバイザーの研究室に提出する。</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 学習シート(4) : テキストの該当箇所をまとめる。</p>	30 60
7・8 /	<p>プレゼンテーションの基本技術 プレゼンテーションの方法について学習する。 グループ討議：「大学入学後を振り返って」 指定された題材についてグループ討議を行い、グループの意見としてまとめ、次回のプレゼンテーションの準備を行う。</p> <p>【持参物】 修学基礎2010・キャンパスノート・KIT学生心得</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 学習シート(4)</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 グループ討議メモ用紙(2) ・課外活動として、発表準備をしておく。</p>	30 60 120
9・10 /	<p>プレゼンテーションの実際 プレゼンテーションの方法を実践的に学習するために、前回の授業と課外グループ活動で検討し、準備した事項について発表する。また、他のグループの意見を検討する。発表では、前回の授業で学んだプレゼンテーションの基本技術を活かす。発表された意見、その意見に至った背景をメモし、自己の意見との類似点や相違点をまとめ、クラスで議論する。なお、発表は「課題 プレゼンテーションの成果(1)」として採点対象となる。</p> <p>【持参物】 修学基礎2010・キャンパスノート・KIT学生心得、ノートパソコン(発表のため)</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴 ・課題 グループ討議メモ用紙(2)</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。</p>	30
11・12 /	<p>修学アドバイザーによる自由講義・演習</p> <p>【持参物】 修学アドバイザーが指示するもの</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】 ・1週間の行動履歴</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。</p>	30
13・14 /	<p>履修申請の方法と後学期の履修計画</p> <p>【持参物】</p>	<p>指定教室での講義・演習</p> <p>【提出物】</p>	<p>【課題】 ・1週間の行動履歴を作成する。 ・課題 前学期の達成度自己評</p>	30 60

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
	修学基礎2010、キャンパスノート、カリキュラムガイドブック、規則集	<ul style="list-style-type: none"> ・1週間の行動履歴 ・課題 後学期の履修計画 時間内に作成できなかった場合は、次週の授業までに修学アドバイザーの研究室に提出する。 	価 web上に作成後、プリントアウトし、修学アドバイザーが指定する日時・場所に提出する。 <ul style="list-style-type: none"> ・修学基礎HPで、授業アンケートに回答する。 	30
15・16 /	自己点検授業 夏期休暇に関する注意 夏期休暇中の生活に関する注意事項、夏期休暇中の課題、夏期休暇中の集中講義、後学期の日程を確認する。	自己点検授業 出席と課題提出の状況を確認し自らの成果を確認・反省する。 【提出物】 <ul style="list-style-type: none"> ・1週間の行動履歴 	【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・1週間の行動履歴を作成する。 ・夏期休暇中の課題：小論文B「小論文コンテスト草稿」(1500～2000字) 小論文Aの添削から自分の文章作成の不十分な点を確認・改善した結果を、小論文B作成に反映させる。 ・修学アドバイザーからのコメントをweb入力していない場合は、後学期オリエンテーションまでに入力を行う。 	30 360 60